

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : グループホーム草佳苑

作成日 : 平成23年2月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)	入居者の超高齢化、重度化などの理由により入居者が出かけて行って交流することが困難になってきた。又、事業所が診療所の2階にある為、地域の方が気軽に立ち寄ることが難しい状況である。	地域の一員として交流できる施策を工夫する。	①障害者更正施設からの就労支援に向けた実習の受け入れ。 ②障害者更正施設が運営している「パン工房」との交流。	3ヶ月
2	10(6)	これまで意見や要望を出して頂く機会が少なかった。今年は家族会が発足されたものの、本格的な活動に至っていない。	家族会を通じて、利用者や家族が気兼ねなく意見や要望を出せる体制をつくる。	①家族会会長さんを中心に年2回の会合を開催し、家族同士の交流を図る。 ②年間行事毎に家族の協力を依頼する。又、行事開催前に家族間の意見交換をして頂く。	12ヶ月
3	49	入居者の超高齢化、重度化により外出の機会が減少している。常時マンツーマンの対応が必要であり外出時の職員不足がある。	一人ひとりの生活歴を見直し、その人の生活歴につながる様な外出目標を検討する。	①一人ひとりの生活歴を見直し、その人の望む外出を計画する。 ②早期に外出計画をし、家族会やボランティアに協力を依頼する。	6ヶ月
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。